

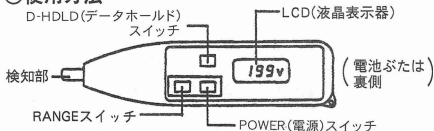


◎仕様

RANGE	H	L
検電対象	裸の電線や裸の端子、コンセントの電極など金属部分	ビニルやゴム絶縁電線の被ふく(絶縁)部分
検電電圧	最大 AC500V	最大 AC500V
確 度	± 3 %rdg (温度23°C ± 5°C) (湿度80%RH以内)	概略値 (検電対象の環境や検知部の当て方で変動する)

- 検電の表示……………LCDが対地電圧を数字で表示し、ブザーが約15V(AC)以上で発音する。
- 使用回路電圧/周波数…AC600V以下/50~60Hz
- オートパワー・オフ…電源スイッチ「ON」後、約10分で動作する。
- データホールド(DH)…DATA・HOLDスイッチを「ON」にすると表示を保持し「DH」が点灯、「OFF」で「DH」が消灯しホールド解除となる。
- 電池電圧低下の表示…表示器に「B」が点灯する。
- 使用電池/電池寿命…LR44(1.5V) × 2本/連続約60時間
- 寸法/重量……………130(L) × 30(W) × 14(D)mm/約37g

◎使用方法



- 付属電池の取付け
まず、電池ぶたを△印方向に押し外します。⊕⊖の極性に注意して、電池をホルダーに収納し、電池ぶたを元どおりに閉じます。
 - ① POWERスイッチをONにします。(表示器の「000」が点灯)
 - ② RANGEスイッチを「仕様」の項を参考に、LかHに切換えます。
 - ③ 既知の回路で動作の確認をします。本器を手で握り、検知部を既知の回路にしっかり当てます(LCDが電圧表示、ブザーが発音)〈動作しないときは、電池の不良か検電器自体の故障です〉
 - ④ 検電対象の回路を、前記②、③の要領で検電します。
 - ⑤ 検電終了後はPOWERスイッチをOFFにしてください。
- なお、電源は切り忘れてもオートパワー・オフ回路により、約10分後に切れます。再度電源をONする時はPOWERスイッチをOFFにしてからONにしてください。

⚠ 本器使用上の注意事項

- ① 本器は交流低電圧回路用の検電器です。600Vを超えた回路での検電には、危険ですから使用しないでください。
- ② 単相2線式や3線式、3相3線式や4線式などの低圧電路では、1線が接地(アース)されています。接地された線に対し本器は動作しないので、充電の有無はすべての線に対し検電してください。
- ③ 表示器に「DH」が点灯しているときには検電できません。
- ④ 電線の皮ふく上からの検電では、一般に、実際より低い値を表示し、表示が不安定になる場合がありますのでご承知ください。
- ⑤ 金属管内の電線、シールドされた電線の検電はできません。
- ⑥ 表示器に「B」が表示されたら、誤動作防止上電池交換してください。
- ⑦ 使用前には必ず、外観チェックと動作確認をしてください。
- ⑧ 水にぬれると故障の原因に、濡れ手使用は感電の危険があります。
- ⑨ 過度の振動や衝撃は故障の原因になります。
- ⑩ 直射日光下や60°C以上の高温になる場所、80%以上の多湿の場所や結露する場所に、長時間置いたり保管しないでください。
- ⑪ 木製の床に立ての計測では、低めの指示をします。
- ⑫ 延長コードの計測は、低めの指示をします。

マルチ計測器株式会社

〒101-0025

東京都千代田区神田

佐久間町一丁目26番 秋葉原村井ビル7F

TEL 03-3251-7013 FAX 03-3253-4278